

No.	14-3-4	場所	松川町 生田支所付近	次世代への継承キーワード
名称	生田支所付近の被災（塩倉公民館の被災）			災害現象理解
災害現象	家屋の被災			河川 福沢川
補足事項				支流

松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。

●体験談：災害当時、消防団十二分団の副分団長（松川町生田地区在住）
 <6月28日>雨も小降りとなった朝四時頃、生田支所横の塩倉会所が山津波により押し出されて来ました。屋根のみが見えました。災害の真相が判って来たのは、夜が明けてからでした。昨日迄見ていた緑の田・畑、道路、川が跡形もなく、皆一面の白い河原と化しており、何処に田畑があり、川があり県道があったのか全く判らない状態でした。
 （松川史学会誌 15「昭和36年梅雨前線豪雨災害 三六災害の思い出」p.18）

記 録



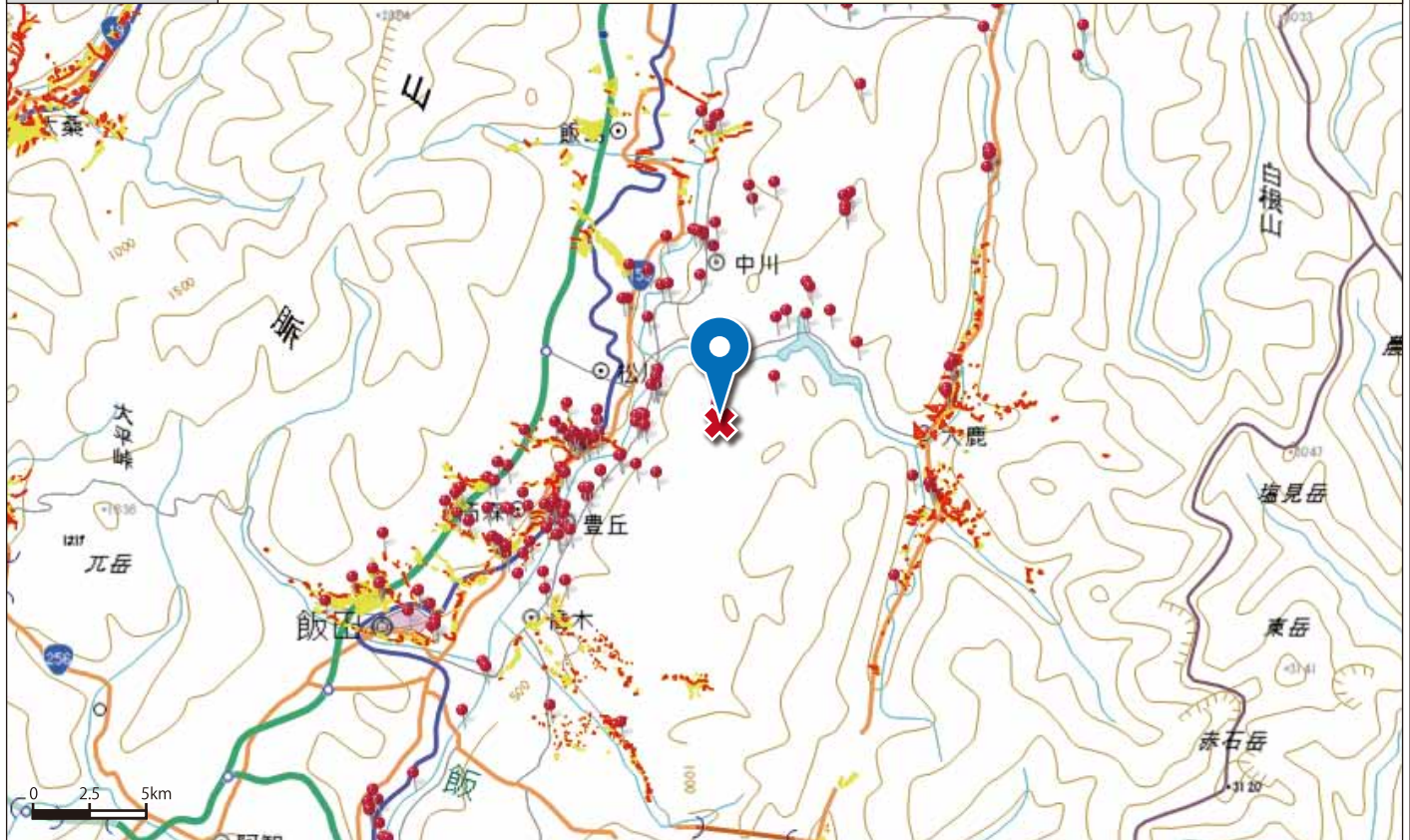
被災した生田支所付近の惨状。左側は流された塩倉公民館

出典 「松川町史 第1巻」 / 松川史学会誌 15「昭和36年梅雨前線豪雨災害 三六災害の思い出」p.18

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	14-3-4	場所	松川町 生田支所付近	緯度	35.584163
名称	生田支所付近の被災（塩倉公民館の被災）			経度	137.954265

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。